

県大生が無農薬の
ニンニク栽培学ぶ

南国市

【香長】栄養士を目指す高知県立大学健康栄養学部の2年生9人がこのほど、南国市で無農薬でのニンニク栽培を体験した。

授業の一環で、無農薬栽培のこつや生産の苦労を学ぼうと企画。9日、農薬や化学肥料を使わずに野菜などを育てている山崎千代子さん(50)＝香南市＝の手ほどきを受けた。学生は不慣れな手つきながらも、畝に小さな穴を開けて、そつと種芋を植え付け。無農薬栽培では、病気などがないか種芋を一つずつ

確かめて植える必要があると教わり、人の目で鮮度を見極める「て大事」などとうなずいていた。

この日は1日がかりで約15㎡を植え付け。将来は食育に関わりたという平松陽奈さん(20)は「野菜嫌いの子には育てる過程も伝えて興味を持たせ、食べるきっかけをつくってあげたい」と話していた。(深田恵衣)



畝に開けた穴にニンニクの種芋を植えていく学生たち(南国市下末松)